

豊崎第6架道橋及び中津町架道橋下の道路の
閉鎖に伴う代替施設に関するアンケート
分析結果と代替施設整備案の検討について

大阪市 建設局 道路部 街路課 鉄道交差担当

1. アンケート調査概要
2. アンケート調査結果
 - 2-1 アンケート回答状況
 - 2-2 回答者属性
 - 2-3 アンケート調査結果の分析
 - ① 各案の全体的評価
 - ② アンケート調査結果の分析方法について
 - ③～⑥ A～D案の分析結果
 - ⑦ 利用ガード下道路別のアンケート意見について
 - ⑧ 利用手段別のアンケート意見について
 - ⑨ 側道の通行形態に関する意見について
 - ⑩ A-④平面道路の天井高さに関する意見について
 - ⑪ 豊崎第6架道橋の代替施設に関する意見について
 - 2-4 代替施設案についての自由意見
3. アンケート調査結果のまとめと考察
4. アンケート分析結果を踏まえた代替施設整備案の検討
5. 代替施設の整備方針と整備概要

1. アンケート調査概要

■調査目的

- JR東海道線支線地下化事業の事業区域内にある4つの架道橋のうち2つ（豊崎第6架道橋、中津町架道橋）の架道橋下の道路が閉鎖となるため、それらの代替施設についてご意見を頂く。
- 頂いたご意見を分析し、その結果をもとに、アンケートで提示した案をより利用しやすいものとする代替施設整備案を検討する。

■調査対象者

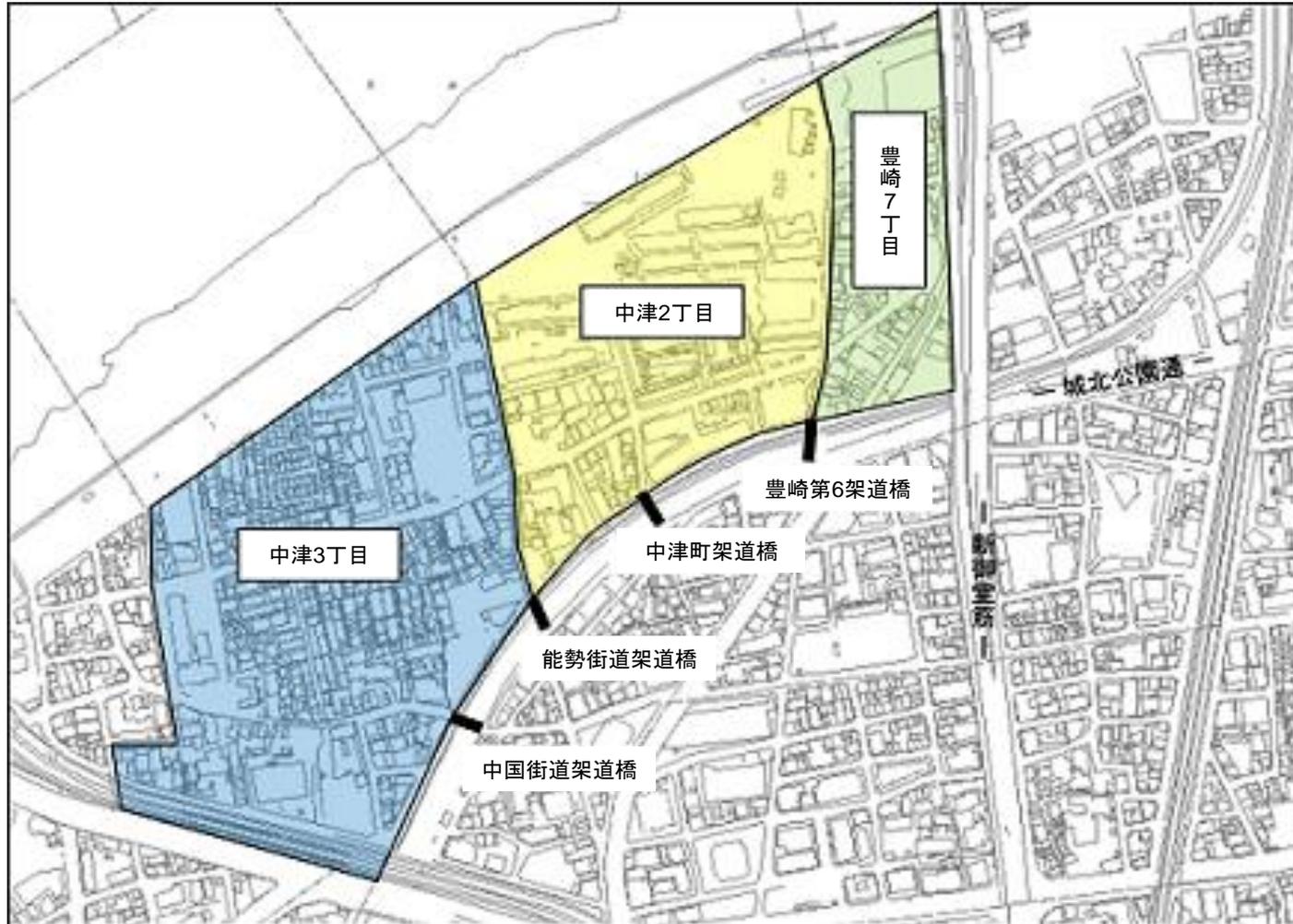
- 中津2、3丁目・豊崎7丁目にお住まいの方、及びこの地域へ通勤、通学、買い物等で通行されている方

■配布方法

- ポスティング
- 現地配布
- 本市H.P.からのダウンロード

1. アンケート調査概要

■調査対象エリア図



1. アンケート調査概要

■アンケートの質問事項（1枚目、2枚目／全8枚）

アンケート用紙

【資料1】

【大阪市建設局道路部街路課鉄道交差担当（FAX 06-6615-6582）あて】

アンケート用紙（1／8）

各問の最も該当する箇所の1つにチェック（☑）を入れ、（ ）欄には内容等をご記入下さい。

■あなたご自身について

ふりがな 氏名		お住 いの 住所	下のいずれかに☑をして下さい。		
			大阪市北区 <input type="checkbox"/> 中津2丁目（ ） <input type="checkbox"/> 中津3丁目（ ） <input type="checkbox"/> 豊崎7丁目（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性				
年齢層	<input type="checkbox"/> 19歳以下 <input type="checkbox"/> 20～49歳 <input type="checkbox"/> 50～64歳 <input type="checkbox"/> 65歳～74歳 <input type="checkbox"/> 75歳以上				

■Q1 架道橋下の道路（ガード下道路）の利用頻度と目的等について

Q1-1 あなたが普段よく利用されているガード下道路は、どの道路ですか？最もよく利用していると思うガード下道路を1つ選んで下さい。	<input type="checkbox"/> 豊崎第4架道橋のガード下道路 <input type="checkbox"/> 豊崎第6架道橋のガード下道路 <input type="checkbox"/> 中津町架道橋のガード下道路 <input type="checkbox"/> 能勢街道架道橋のガード下道路 <input type="checkbox"/> 中国街道架道橋のガード下道路
Q1-2 そのガード下道路を利用する時の主な目的は何ですか？最も該当するものを1つ選んで下さい。	<input type="checkbox"/> 通勤（自宅と勤務先間の移動） <input type="checkbox"/> 通学（自宅と通学先間の移動） <input type="checkbox"/> 業務（販売、配達、作業など仕事上の移動） <input type="checkbox"/> 通院（病院などへの移動） <input type="checkbox"/> 送迎（幼稚園などへの送り迎え） <input type="checkbox"/> 日常の買い物 <input type="checkbox"/> その他（散歩、食事などの移動）
Q1-3 そのガード下道路を利用するときの主な目的施設について記入して下さい。	目的施設（名称、住所などを記入して下さい。） （例）地下鉄中津駅
Q1-4 そのガード下道路の利用頻度はどの程度ですか？	<input type="checkbox"/> 毎日（ ）往復程度 <input type="checkbox"/> 週に（ ）往復程度 <input type="checkbox"/> 月に（ ）往復程度
Q1-5 そのガード下道路を利用する時の主な交通手段を1つ選んで下さい。	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 徒歩（杖、手押し車など使用） <input type="checkbox"/> 車いす（介助者なし） <input type="checkbox"/> 車いす（介助者あり） <input type="checkbox"/> 自転車など <input type="checkbox"/> 自動車・自動二輪車（原付含む）

次ページに続く

アンケート用紙（2／8）

これまで、ガード下道路の代替施設については、8月に説明会^{*1}を開催し、代替施設として、

- ・中津町側では階段とスロープ付きの歩道橋
- ・豊崎第6側では階段とスロープ付きの地下道の案を提示しました。（以下「8月案」といいます。）

8月案に対しては、

- ・距離の長いスロープは使いづらい
- ・別の場所に現状のようなガード下道路を設置してほしい
- ・エレベーターを設置してほしい

などのご意見をいただきました。

※1 これまでの経過や8月案については、「これまでの経過と主なご意見について」【資料2】及び別紙の「今回提示案説明資料」（8月案）【資料3】をご参照下さい。

今回のアンケートでは、スロープの代わりに新たな平面横断通路やエレベーターを設置する案として、4案（A案～D案）を提示いたします。

A案～D案の概要は次のとおりで、詳細については別紙「今回提示案説明資料」【資料3】をご覧くださいながら、Q2以降のアンケートにお答え下さい。このアンケートは、4つの案の中から一つを選んで頂く方式ではなく、4つの案それぞれに評価を頂く方式としています。今後、その結果を踏まえ、各案の組み合わせ等も総合的に検討していきます。

なお、エレベーターの設置に関しては、設置するスペースに課題があることから、

- ・側道の一部において、通行形態として計画していた対面通行^{*2}を一方通行化する又は

計画の対面通行とする場合は、公園用地を利用せざるを得ない状況となります。

※2 別紙「側道の通行形態の計画について」【資料4】をご参照下さい。

<提示案の概要>

A案 8月案のスロープに代わって新たな平面横断通路を設置

B案 8月案のスロープに代わってエレベーターを設置（鉄道のみを横断）

C案 8月案のスロープに代わってエレベーターを設置（側道と鉄道を横断）

（B案、C案では、側道内にエレベーターの設置スペースを確保するため、側道の通行形態の計画について、一部の区間で対面通行から一方通行化への変更が必要となります。）

D案 側道の対面通行を確保するために、中津東公園内にエレベーターを設置

（中津町側は側道以外でのスペースがないため、エレベーターは設置できないが、A案と同じく階段のみの歩道橋と新たな平面横断通路を設置する。）

1. アンケート調査概要

■アンケートの質問事項（5枚目、6枚目／全8枚）

アンケート用紙（5／8）

- Q3 B案について、ご意見をお聞きます。（別紙「今回提示案説明資料」（B案）【資料3】参照）この案は、8月案から以下の点を変更しております。

B案 エレベーターを設置（鉄道のみ横断）

- ・ 鉄道との高さ関係を考慮のうえ、中津町のガード下道路周辺には、鉄道だけを横断する歩道橋、豊崎第6のガード下道路周辺には、鉄道だけを横断する地下道を設置する。
- ・ 8月案で提示したスロープでの昇降手段に代わり、歩道橋及び地下道とも、昇降方法は階段とエレベーターとする。

※ エレベーターについては、定員20名程度（エレベーター室内寸法 2m×1.5m程度）のサイズとしており、自転車も利用可能としておりますが、自転車での利用については、**Q6**でお聞きます。

（留意事項）

- エレベーター設置スペースを確保するため、対面通行の計画であった側道の通行形態を一部の区間で**一方通行化**（大阪整肢学院西側交差点から中津東公園東側交差点まで）が必要となります。（【資料4】参照）
- 鉄道のみを横断する歩道橋及び地下道のため、**側道横断**があります。

Q3-1 B案についてどのように思われますか？	<input type="checkbox"/> 代替施設として適当である。 → (Q3-2へ) <input type="checkbox"/> 代替施設として適当でない。 → (Q3-3へ)
Q3-2 Q3-1で「代替施設として適当である。」と回答された方へお聞きします。B案が設置された場合、どの代替施設及び昇降手段を利用しますか。	<input type="checkbox"/> B-①（歩道橋）の階段 <input type="checkbox"/> B-①（歩道橋）のエレベーター <input type="checkbox"/> B-②（地下道）の階段 <input type="checkbox"/> B-②（地下道）のエレベーター → (Q4へ)
Q3-3 Q3-1で「代替施設として適当でない」と回答された方へお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 側道の一方通行化は不便 <input type="checkbox"/> その他 → (Q4へ)

次ページに続く

アンケート用紙（6／8）

- Q4 C案について、ご意見をお聞きます。（別紙「今回提示案説明資料」（C案）【資料3】参照）この案は、8月案から以下の点を変更しております。

C案 エレベーターを設置（側道と鉄道を横断）

- ・ 鉄道との高さ関係を考慮のうえ、中津町のガード下道路周辺には、側道と鉄道を横断する歩道橋、豊崎第6のガード下道路周辺には、側道と鉄道を横断する地下道を設置する。
- ・ 8月案で提示したスロープでの昇降手段に代わり、歩道橋及び地下道とも、昇降方法は階段とエレベーターとする。

（留意事項）

- B案と同様、側道の一部の区間で**一方通行化**（大阪整肢学院西側交差点から中津東公園東側交差点まで）が必要となります。（【資料4】参照）
- 側道と鉄道を横断する歩道橋となるため、車道の建築限界4.5m以上を確保しなければならず、中津町の代替施設はB案よりも高い歩道橋となります。
- 側道と鉄道を横断する地下道となるため、側道に埋設されているライフラインの取用スペースを確保しなければならず、**豊崎第6の代替施設はB案よりも深い地下道**（深さ約5m）となります。

Q4-1 C案についてどのように思われますか？	<input type="checkbox"/> 代替施設として適当である → (Q4-2へ) <input type="checkbox"/> 代替施設として適当でない。 → (Q4-3へ)
Q4-2 Q4-1で「代替施設として適当である」と回答された方へお聞きします。C案が設置された場合、どの代替施設及び昇降手段を利用しますか。	<input type="checkbox"/> C-①（歩道橋）の階段 <input type="checkbox"/> C-①（歩道橋）のエレベーター <input type="checkbox"/> C-②（地下道）の階段 <input type="checkbox"/> C-②（地下道）のエレベーター → (Q5へ)
Q4-3 Q4-1で「代替施設として適当でない」と回答された方へお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 側道の一方通行化は不便 <input type="checkbox"/> 歩道橋・地下道の昇降高が大きく不便 <input type="checkbox"/> その他 → (Q5へ)

次ページに続く

1. アンケート調査概要

■アンケートの質問事項（7枚目、8枚目／全8枚）

アンケート用紙（7／8）

- Q5 D案について、ご意見をお聞きます。（別紙「今回提示案説明資料」（D案）【資料3】参照）この案は、8月案から以下の点を変更しております。

D案 対面通行を確保し、エレベーターを設置

- ・ 鉄道との高さ関係を考慮のうえ、中津町のガード下道路周辺には、鉄道だけを横断する歩道橋を設置し、昇降方法は階段とする。
- ・ 加えて、中津町の周辺に、8月案で提示したスロープでの昇降手段に代わり、現状のガード下道路にできるだけ近い場所に、新たに平面で横断できる通路を設置する。
- ・ 豊崎第6のガード下道路周辺には、中津東公園を活用して鉄道と側道を横断する歩道橋を設置し、昇降方法は階段とエレベーターとする。

（留意事項）

- i) 豊崎第6側の歩道橋の昇降高が大きく（高さ6.2m）なります。
- ii) エレベーターの設置は豊崎第6側のみとなります。
- iii) 公園の使用が一部制約されます。
- iv) 階段を利用しない方は新たな平面横断通路又は、豊崎第6側のエレベーターへの迂回が必要となります。

Q5-1 D案についてどのように思われますか？	<input type="checkbox"/> 代替施設として適当である。 → (Q5-2へ) <input type="checkbox"/> 代替施設として適当でない。 → (Q5-3へ)
Q5-2 Q5-1で「代替施設として適当である」と回答された方へお聞きします。どの代替施設及び昇降手段を利用しますか。	<input type="checkbox"/> D-①（中津町側の新たな平面横断通路） <input type="checkbox"/> D-②（中津側の歩道橋） <input type="checkbox"/> D-③（豊崎第6側の歩道橋）の階段 <input type="checkbox"/> D-④（豊崎第6側の歩道橋）のエレベーター → (Q6へ)
Q5-3 Q5-1で「代替施設として適当でない」と回答された方へお聞きします。その理由をご記入下さい。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 豊崎第6の歩道橋の昇降高が大きく不便 <input type="checkbox"/> 公園の使用が制約されるのはよくない <input type="checkbox"/> 中津町側の平面での迂回が不便 <input type="checkbox"/> その他 → (Q6へ)

次ページに続く

アンケート用紙（8／8）

- Q6 自転車でのエレベーター利用について、ご意見をお聞きます。

Q6-1 自転車でのエレベーターの利用について、どう思われますか。	<input type="checkbox"/> 歩行者や車いすなどの安全な通行を確保するために、自転車は利用しない方がよい。 <input type="checkbox"/> 自転車も利用してよい。
-----------------------------------	---

- Q7 豊崎第6の地下道について、ご意見をお聞きます。

今回提示している地下道案（A案、B案、C案）は、横断時の上下移動をできる限り小さくした案で提案しております。一方で、地下道は、閉鎖された空間ですので、防犯面の課題だけでなく、災害時の浸水に対する課題もあることから、歩道橋形式の検討もしております。

Q7-1 歩道橋とした場合、高さが約6~7m [※] となりますが、代替施設として地下道と歩道橋とどちらが適当と考えますか。	<input type="checkbox"/> 地下道 <input type="checkbox"/> 歩道橋
---	--

※一般的な歩道橋の桁下高さは、4.7m程度です。

- Q8 代替施設案について、それぞれの案の組み合わせ等、その他のご意見がございましたらご記入願います。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

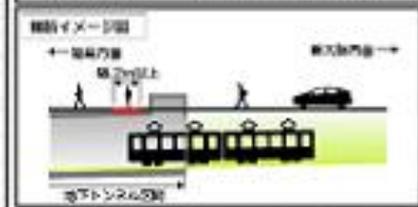
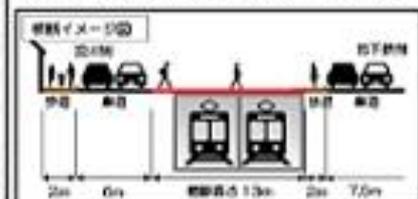
1. アンケート調査概要

■代替施設案（A案）



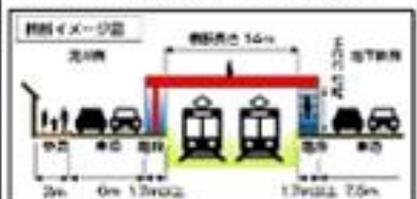
A-①：平面横断通路

通路との高低差が生じない位置に横断通路を設置



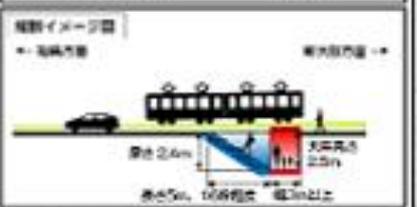
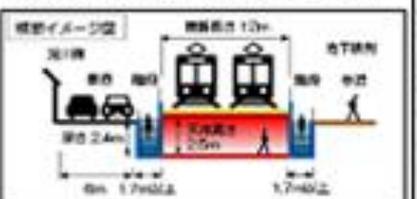
A-②：歩道橋（階段のみ）

中津町架道橋の現道付近に代替歩道橋を設置



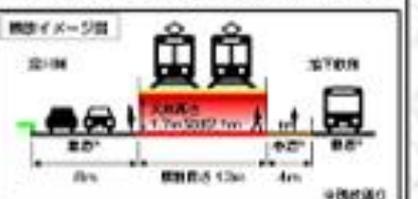
A-③：地下道（階段のみ）

豊崎第6架道橋の現道付近に代替地下道を設置



A-④-1とA-④-2：平面横断通路

A-④-1又はA-④-2のいずれかを設置し、通路との高低差が生じない位置に横断通路を設置



1. アンケート調査概要

■代替施設案（D案）

